

「丹波路の車窓から」
—老ノ坂と保津峡の近代—



【新版引見本帖第3】(国立国会図書館)
(<https://dl.ndl.go.jp/pid/1682624>) を加工して作成

3/2 (日)
保津川の日を記念し、
観覧料を無料

令和7年

日時

2月8日(土) ~ 3月9日(日)

会場

亀岡市文化資料館 展示室Ⅱ

〒621-0815 京都府亀岡市古世町中内坪1番地

観覧料

一般：300円
小中学生：150円

次の方は無料です

- ・障がい者手帳をお持ちの方とその介助者
- ・亀岡市文化資料館友の会会員

令和6(2024)年、関西で鉄道が開通して150年を迎えました。特に近代は、科学技術の発展により新たな交通機関が生まれ、従来の交通手段との競合や棲み分け等が促進されました。これにより、日常生活・産業・文化に大きな変化がもたらされたといえます。

本展示会は、先述の鉄道開通を契機とし、亀岡市域をフィールドに近世から近代にかけての交通の展開過程と地域社会との関係について明らかにしようとするものです。

現在の亀岡市域は、近世においては山陰街道の往来や保津川を利用した水運が主要な交通として知られていましたが、近代に入ると車道及び鉄道が開通します。これにより、多彩な交通を有することとなった亀岡市域では、どのような交通のあゆみを辿ってきたのか、そして交通は地域社会にどのような影響を及ぼしたのかを探ります。

関連講座と担当学芸員によるギャラリートーク

1

講座

「丹波へ広がる鉄道」

日時 2月15日(土) 午後1時30分～3時

講師 井尻智道さん(南丹市立文化博物館学芸員)

「保津川下りの近代化—物資輸送から観光へ—」

日時 2月23日(日) 午後1時30分～3時

講師 黒川孝宏さん(元亀岡市文化資料館館長)

場所 亀岡市文化資料館3階研修室

定員 30人(先着順)

2

ギャラリートーク

日時 2月22日(土)、3月1日(土)

※いずれも午前10時～11時

場所 文化資料館展示室Ⅱ

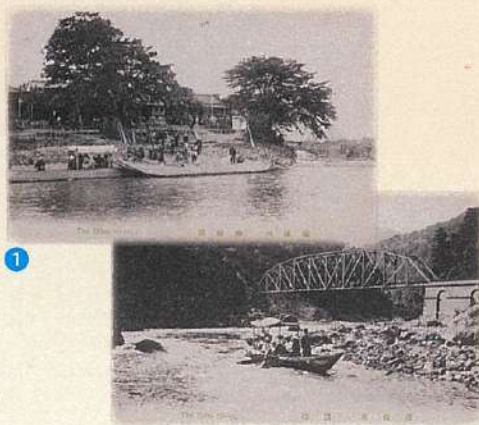
定員 20人(当日受付、入館料が必要)

受付開始

2月4日(火)から(定員になり次第締切)。
電話・FAX・メールで文化資料館へ。

亀岡市文化資料館

〒621-0815 京都府亀岡市古世町中内坪1番地
TEL: 0771-22-0599 FAX: 0771-25-6128
MAIL: kamebun.entry@gmail.com



1: 絵葉書(乗船場)、当館蔵 2: 絵葉書(鉄橋)、当館蔵 3: 改正鉄道地圖附著名醸造家案内、南丹市立文化博物館蔵 4: 嵐山名所図絵附保津川くだり、宇治市歴史資料館蔵